



浜松医科大学小児科学雑誌 5巻1号 編集後記

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 浜松医科大学小児科学雑誌編集部 公開日: 2025-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/0002000363

編 集 後 記

「浜松医科大学小児科学雑誌」2025 年 第 5 卷 第 1 号を発刊いたしました。本号では、依頼総説 1 編、原著総説 1 編、症例報告 7 編を掲載しております。それぞれが小児科学分野における重要な知見を提供する内容です。ぜひご一読ください。また、論文の査読にご協力いただきました先生方に深く感謝申し上げます。

査読 (peer review) とは、同業の専門家による厳正な審査を指します。査読者 (reviewer / referee) は、掲載可 (accept) か掲載不可 (reject) を判断する重要な役割を担い、投稿論文の行方を左右します。その判断には従うべきルールがあるため、投稿者としては誠実に対応する必要があります。査読コメントの中には、的外れに感じられるものが含まれる場合もあります。しかし、冷静に考え直すと、投稿者の表現が不明瞭であったり、誤解を生む記述があったりした可能性が考えられます。その際には、査読者の意図を汲み取り、内容が明確になるよう修正することが重要です。すべてのコメントに対応するのが査読のルールであり、修正を行わない場合には、控えめかつ合理的な理由を説明する必要があります。査読を通じて、自身が重要だと思ったポイントが他者にも共感されるかどうかを見直す機会が得られます。科学論文においては、独りよがりではない「わかりやすさ」と「客観性」が不可欠です。査読を経てそれらが向上すれば、論文の完成度も高まります。

こうした査読を受ける経験は、初期臨床研修医や専攻医の段階から積み重ねることが望ましいと考えます。学会発表のみならず、論文執筆にも積極的に挑戦し、このプロセスを通じて得た学びは、将来の研究活動や後輩の指導にも必ず役立つでしょう。

浜松医科大学小児科学雑誌編集部
飯嶋 重雄

浜松医科大学小児科学雑誌編集部
編集委員：宮入 烈，福田 冬季子，坂口 公祥，大石 彰，飯嶋 重雄（編集委員長）

浜松医科大学小児科学雑誌 2025 年 第 5 卷 第 1 号
2025 年 3 月 15 日 発行
発行者：浜松医科大学小児科学雑誌編集部（発行責任者：宮入 烈）

浜松医科大学小児科学雑誌編集部
〒431-3192 静岡県浜松市中央区半田山 1-20-1
浜松医科大学小児科学教室内
メールアドレス：Ped_Journal@hama-med.ac.jp

表紙デザイン：漆畑 伶